



WORLDWITHOUTNEWS

ジャーナリズム論

第6回ジャーナリズムの特徴・役割



今日の予定

ジャーナリズム論(6)

- ・ レスポン、一部返答
- ・ 中間オンライン筆記試験の説明
- ・ 簡単な復習
- ・ ジャーナリズムが社会の中でいかなる特徴をもち、いかなる役割を果たしているのか（マス・コミュニケーションまたはメディア論的な視点から）

00000000

今日理解すべき点

9回目授業以降の内容に関係してくる（詳細はシラバス参照）

- ・ 「ジャーナリズムはどうあるべきか」という議論と、実際にどのような機能を果たしているかということに「乖離」があること
- ・ 建前上で語られるジャーナリズムというものが何故あるのかという点を理解し、社会学やマスコミュニケーション論ではどう位置づけられてるのか理解する
- ・ 実際のニュース、ニュースを受け取る自分自身の状況、身近でおきている出来事に対する自分の視点は大切にしつつ、それが実はニュースなどの外的な影響を受けているもので、オリジナルではない可能性があることを理解する。
- ・ 社会の状況を改めて見つめ直し、自分の置かれている状況を、ジャーナリズム論およびメディア論という色眼鏡をつけて「メタ」認知する。
- ・ 考えるのもめんどくさい、何も考えていないというのも含めて…その何も考えていないという考え方に、日頃接している情報、特にニュースと称されるものがどう影響するのか、しないのか検討することができるようになる

中間レポートについて

授業Webサイト・Toyonetaceにてアナウンス済み

本授業の学習到達目標

民主政を掲げる社会の中で、ジャーナリズムが果たす役割を理解し、わかりやすく説明できるようになる。
また、ジャーナリズムの基本理念と基礎知識を身につける

ジャーナリズム研究（論）で何が問題となっているか課題を理解する。その上で、社会問題を検証する際に必要な情報や知識を収集し、その情報を活用して、論理的に意見が言えるようになる。

日々の時事ニュースや報道が、自分の考えや視点にいかにして影響をあたえるのか意識できるようになる

自分の身の回りの問題だけではなく、ジャーナリズムをめぐる問題をいかに捉え、どう個人が行動していくか判断できるようになる。

本講義で得た知識を応用し、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めていく習慣を身につける。



評価方法

- 総合評価は東洋大学の成績評価基準に準拠する。
- 出席・参加度・積極性 30 %
- 中間レポート 20%
- 期末レポート 30%
- ~~新聞記事要約定期課題/授業外課題15%~~ → リアペ/リフレクション/授業用簡易ページ、Toyonetaceへのアクセス 15% + 知識獲得度・その他 5% = 20%

評価方法

5ポイント領域で評価（目的でもある）

1. メインポイント（主題、テーマ、論点）が明確に書かれているか
2. （可能な限り）論理的に論じられているか
3. 授業での内容、配布された資料などの内容が反映されているか
4. サポート（根拠）が明確にかかかれているか
5. その他（誤字脱字、読みやすさ、表現など。+読んだ時の印象、先生の主観はいっちゃんけど）

題: ジャーナリズムの定義再考



... (中略)

電子提出ファイル
に、チェックボック
スを貼って✓して機
械的に評価してきま
す。

評価方法（備考）

備考

- 1.自分の考えたことを書いて（先生の視点や考え方は気にしなくていい。実質評価には関係ない。あと「先生の期待しそうな答え方」というのは考えないこと。期待しているのは「とりあえず勉強して、きちんと書いて」ということだけ。できればマトモな大人になって賢く生きて。）
- 2.ただし、筋が通るようにすること。= 論理的にまとめる=理由、説明、根拠がある
- 3.本講義（配布資料や自分で調べたこと含む）の内容を反映させること（どんな形でもよいので、反映させる）
- 4.文章の書き方によって印象が変わってしまうので気をつけること（先生が評価する時に主観的な要素が入る部分）
- 5.フィードバック希望の場合はフィードバック希望の旨申し出ること

狙い、目的

1. 自分の思ったことを整理して文章化し、論理的に表現する、そのための訓練の場
2. 「本講義で得た知識を応用し、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めていく習慣を身につける」そのための訓練
3. クリティカル・シンキングの能力の向上（言うが易しだけれど。）

もし先生の期待する答えを書こうと思うのであれば

備考

- 1.自分の考えを書くところには、オリジナリティを重視したい（なかなかムズカシイし、オリジナルなものって実は無い感じだけど）
- 2.（もし自分がそう思っていないのであれば）社会通念上、「ええカッコしい」に見えなくもないこと、誰もが言いそうな良いことを言おうとしない。表面的に聞こえる…（本気で世間一般に「良いこと」に賛同しているのであれば、持論も展開しつつ書くこと）
- 3.どこかで聞いた表面的な正論を復唱するだけにとどまらず、その先を論じること。よくない例: 「SDGsは大事だ！」 「報道機関は真実を国民に提供するべきだ！」
- 4.先生が授業でいったことをあたかも全て正論であるかのように書かない、復唱しない（逆にこっちが怖くなる。吟味せーよ。それじゃ専門家に聞いてみました！って責任全部専門家に丸投げするアナウンサーと変わらんがね）
- 5.結論はありふれてるんだけどさ、やっぱり全部鵜呑みにしちゃってる感じでしょ？考えるのめんどくさくて。それやめるための訓練としてまとめて。

もし先生の期待する答えを書こうと思うのであれば

備考: 表現に関して

1. 本当に自分の言葉で書いて。言葉足らずと思うのであれば、その状態で書く。それが嫌であれば表現を探す。
2. 国民、市民、世論、大衆といった言葉は少し気をつけたほうが良いかもしれない（先生が市井と使うことあるけど、これも実は好きじゃないけど…他にない）
3. 関係性…関係の性質ってなんやねん？教員同士の関係性…ネチネチしてんの？
4. フェイクニュース、コンプライアンス（的）、カタカナ表現気をつけよう…それいったらジャーナリズムもだけど
5. …実は…～とと思いました、感じました、って小学生のように聞こえて辛い…

復習

ジャーナリズムの役割

建前

『ジャーナリズムの原則(The Element of Journalism)』

ビル・コヴァッチ, トム・ローゼンス
ティール著；加藤岳文, 斎藤邦泰訳
日本経済評論社 (2011年)

ジャーナリズムの役割

- 「真実」を伝える（真実には人の判断が含まれるので、事実とは違う）
- 市民に貢献する役割を担う
- 情報を検証し、伝えること
- 権力の監視役
- 対話の場を提供すること
- 意義のあること（重要なニュース？）などを、興味深く且つ公正に伝える

余談

レポートの大原則: 注意すべきこと

- 事実と意見は分けて書く
- 事実 → 真偽が判断できる内容 (例: 人間は必ず死ぬ【経験的な事実】
地球は丸い【天文学でも証明された事実】 n 角形の内角の和は $180 \times (n - 2)$ の方程式で求められる【論理的な事実】)
- 意見: 客観的あるいは距離において見た場合に、真偽がすぐに判断できないもの。主観。
- 意見に客観性をもたせるように見せるのは「言い方」や「書き方」。論理的に述べることが需要
- 意見の記述「と思われる」「と考えられる/考える」「と推測される/推測する」「～あることは興味深い/注目に値する」「～と捉えることができる」「との印象を受ける」

「真実」って何さ？

厳密に言うともっと哲学的に吟味しないといけないけど

- 事実も真実も「偽りのない、本当のこと」を指すものの
- 事実 = 実際に起こった偽りのない事柄 = 誰が見ても変わりえないこと = 例: 東洋大のジャーナリズム論は志柿が教えてる
- 真実 = 事実に対する偽りのない「解釈」 = 志柿が教えるジャーナリズム論は眠くなる・志柿が教えるジャーナリズムはなんとなく面白い・誰が教えてもジャーナリズム論はクソつままない
- 以上のことは日本語の表現の仕方を考えればわかる。真実を言う、真実を告白するなど、人間が中心になる（これはほかも言語も似ていると思われる）
- 真実は人の数だけ...って言うじゃない？言わんか。とりあえず考えてみて？

ジャーナリズムの役割

ジャーナリストの立場

ジャーナリズムの役割（ジャーナリストの立場の人の言説[ディスコース]）

- ジャーナリズムは、ますます重要になっており、フェイクニュースがあふれる中で真実を伝える役割を担う
- 権力の監視役（例:強者にこそ徹底した監視の目を
- 弱者に寄り添う、声なき声を届ける、など
- 正しく伝える
- 真偽不明の情報が流れるネット空間でメディアとしての役割を果たす責任がある。（この時のメディアは多分、報道機関という意味）
- 事実に基づく正確で洞察に富んだ情報を、分かりやすく読者目線できちんと流すこと
- 国民の知る権利に奉仕する（特に放送局の報道関係者）
- その他（ネットメディアでこれからどうなるかね、新聞みたいなさ、なくなりはないけど、紙媒体はオワコンだよね）紙媒体やネットというので分けたりする言説

ジャーナリズムの役割



識者

ジャーナリズムの役割

社会学的な定義

PURPOSE AND FUNCTIONS OF NEWS

ニュースの目的と機能・特性

Informing (伝える)

Educating (教える)

Guiding (ガイドする)

Entertaining (エンターテインメント)

Interpreting (解釈する)

Forming opinions (参考意見を提示する)

Spreading awareness (気づかせる、自覚させる)

Advertising (宣伝する、広報活動する、PRする)



ジャーナリズムの役割/特徴/特性

マス・コミュニケーション論では？

ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Informing function（伝える）

Interpreting function（解釈する）

Instructive function（教える）

Bonding Function（人と人をつなぐ→ 共同体、想像の共同体、ナショナリズム）

Diversion Function（考え方を分断する役割。アメリカで言えば共和党と民主党...）

Gate Keeper（ゲートキーピング効果。情報の流れを調節する）

Hypodermic Needle/Magic Bullet Theory

（皮下注射論/魔法の弾丸理論: 意図されたメッセージが、情報の受け手によって直接受け取られ、全面的に受け入れられること）

cultivation（メディアの涵養（かんよう）理論: 一般にメディアは人々の認識を支配する/メディアが人々の心に持つイメージを形成する）



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Informing function（伝える）

Interpreting function（解釈する）

Instructive function（教える）

Bonding Function（人と人をつなぐ→ 共同体、想像の共同体、ナショナリズム）

Diversion Function（考え方を分断する役割。アメリカで言えば共和党と民主党...）

Gate Keeper（ゲートキーピング効果。情報の流れを調節する）

Hypodermic Needle/Magic Bullet Theory

（皮下注射論/魔法の弾丸理論: 意図されたメッセージが、情報の受け手によって直接受け取られ、全面的に受け入れられること）

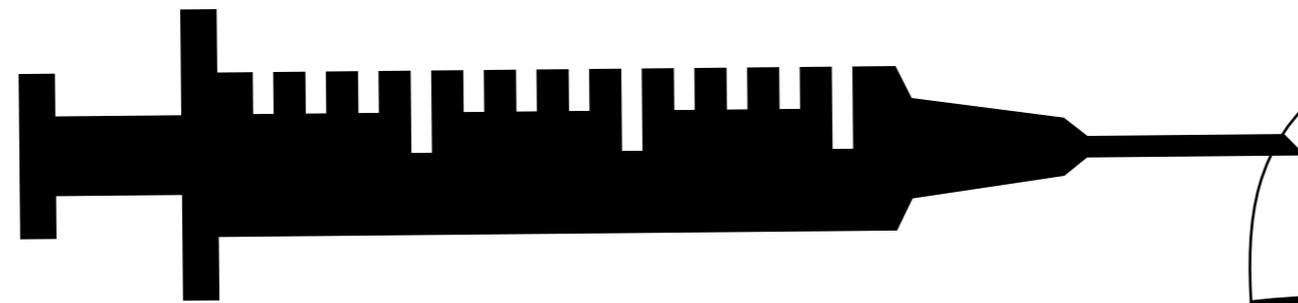
cultivation（メディアの涵養（かんよう）理論: 一般にメディアは人々の認識を支配する/メディアが人々の心に持つイメージを形成する）



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Hypodermic Needle/Magic Bullet Theory (皮下注射論/魔法の弾丸理論: 意図されたメッセージが、情報の受け手によって直接受け取られ、全面的に受け入れられること)



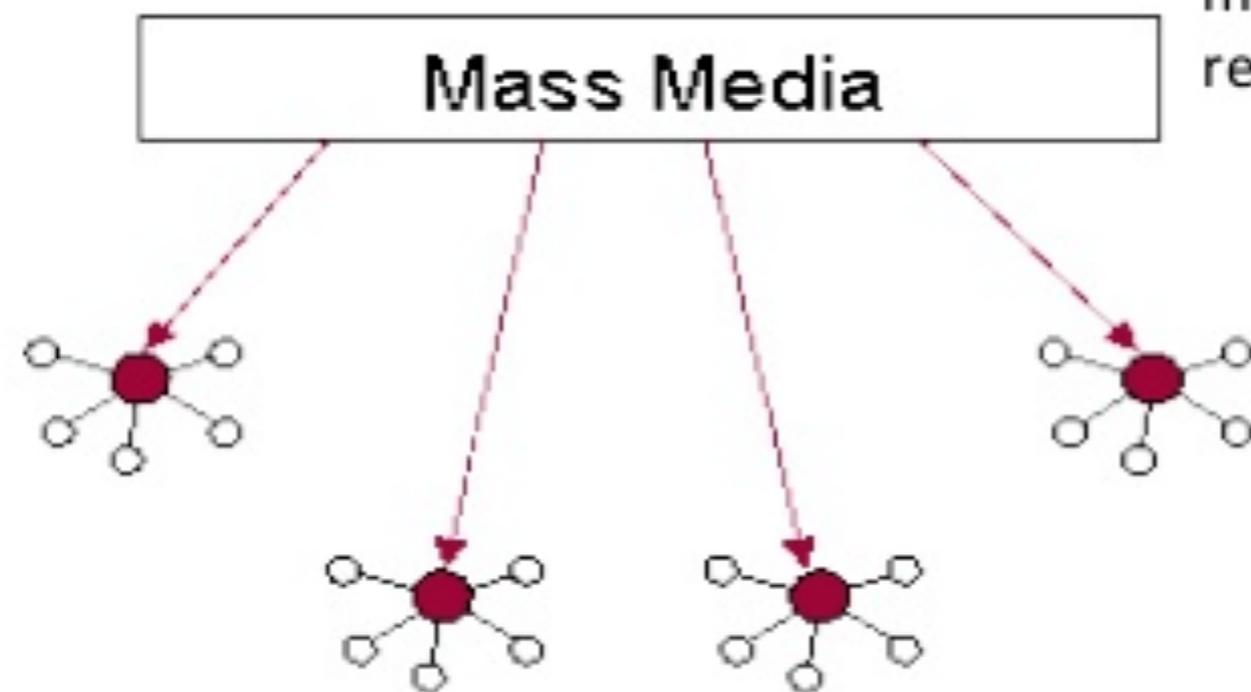
メディアで伝達されたメッセージ
「テレビ・有名人・ネット・新聞で話題！」

テレビ/有
名人/インター
ネット・新聞で話題
になってるらしいっ
すよ。

Two step flow model

Two Step Flow Model (Katz & Lazarsfeld, 1955)

The mass media could influence a very large group of people directly and uniformly by 'shooting' or 'injecting' them with appropriate messages designed to trigger a desired response.



● = Opinion leader

○ = Individual in social contact with
an opinion leader

コミュニケーションの2段階モデル

情報は2段階を得るような形で伝わる (?)

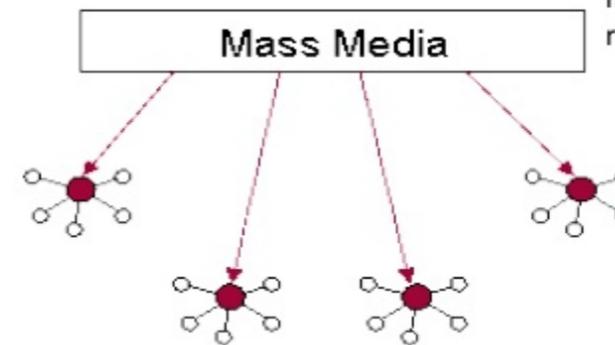
オピニオンリーダーがいる

直接伝わらない...

Two step flow model

Two Step Flow Model
(Katz & Lazarsfeld, 1955)

The mass media could influence a very large group of people directly and uniformly by 'shooting' or 'injecting' them with appropriate messages designed to trigger a desired response.



● = Opinion leader

○ = Individual in social contact with an opinion leader

Gate-keeping Theory

Cox &
Forkum
©2005



ジャーナリズムの役割

GATE KEEPING THEORY

- 新聞・放送などで、ニュースや記事の取捨選択をする担当者
- 「フェイクニュースが溢れている」ということをレスポンで言う人いたけれど、そういった誤情報をフィルタリングしてくれる
- 他方...フィルタリングするということは？
- 本当に世の中の真実って見えてんのかな？
全部は無理だし、多分違うよね...
- 逆にかき消されてしまったり埋もれてしまうことは？



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

agenda setting (アジェンダ セッティング)

今日見て考えないといけな
いニュースや話題は何かを規
程してしまう。自由意志で
何を考えるのかということ
よりも、何について考えな
いといけないかを規程する



“This impact of the mass media- the ability to effect cognitive change among individuals, to structure their thinking- has been labeled the agenda-setting function of mass communication. Here may lie the most important effect of mass communication, its ability to mentally order and organize our world for us. In short, the mass media may not be successful in telling us what to think, but they are stunningly successful in telling us what to think about.” (McCombs and Shaw, 5)

McCombs, Maxwell E, and Donald L. Shaw. *The Emergence of American Political Issues*. New York. West Publishing Co, 1977.

“Mass media doesn't tell you what to think, but it tells you what to think about”

McCombs, Maxwell E, and Donald L. Shaw. *The Emergence of American Political Issues*. New York. West Publishing Co, 1977.

ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Stanley J. Baran's (2002) in
“Mass Communication Theory”

Agenda Setting = a theory that argues **the media may not tell us what to think, but the media tells us what to think about.** Since the media cannot tell us what to think, it cannot dictate ones' opinion on a subject.



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

議題設定機能 = あるテーマの重要性が報道での言及量・頻度により決定づけられること、ひいては、大衆や政治家の注目する議題（アジェンダ）を設定する影響力がマスメディアにある



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Bonding Function（人と人をつなぐ→共同体、想像の共同体、ナショナルリズム）

Diversion Function（考え方を分断する役割。上級・下級国民、識者・無識者、大衆・個人など）



ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Bonding Function（災害の際の絆、つながりを呼びかけるなど。他方行き過ぎた愛国心、排他主義的なナショナリズムを生む）

Diversion Function（考え方を分断する役割。上級・下級国民、識者・無識者、大衆・個人、著名人と一般人、俺らと彼奴、先輩後輩）



ジャーナリズムの役割

What do you think?

考えてもらいたいこと・意見交換してもらいたいこと

レスポンスへの質問にも反映させること/中間オンライン筆記試験の練習も兼ねてる

1. 皮下注射モデルなど、識者が出したマスメディアやジャーナリズムに関する理論の具体例を、普段見ているニュースなどから上げてみる。それぞれに最低一つ。

2. まず、ジャーナリズム論の「こうあるべき」とされることと、今日のジャーナリズムの特徴を比較する。
その後普段接している情報やニュースを例としてあげ、いかなる問題があるか、あるいは起こりうると思うか、最低3つあげる。

3. 今日の授業を聞いて考えたこと、思ったこと、感じたことを整理し、クラスメートと共有する